

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 12 日

事務事業名		大和中央公民館各種講座事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	030201000613	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独		090601	
政策体系	総合計画の施策名	0302 生涯学習・芸術文化活動の推進				主要事業		所属課	生涯学習課	
	政策名	03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				市長マニフェスト				
	施策名	02 生涯学習・芸術文化活動の推進				未来PJ事業		グループ	施設管理G	
	基本事業名	01 生涯学習及び芸術文化活動機会の充実				合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	05	02	03	00	公民館管理事業(大)			
法令根拠							単年度繰返し (年度~)			
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 公民館定期講座開設 公民館報による募集 28年度実施講座は次の通りである ①笑いヨガ②イタリアン料理③編み物④着物リフォーム⑤四つ竹健康おどり⑥フラダンス⑦パッチワークキルト⑧大和なでしこ講座 ・公民館自主講座	<ul style="list-style-type: none"> 公民館定期講座4月12日~21日まで募集・受付 各講座日程での開講、5月から2月までの期間年8回~10回実施(初回には担当者が講座運営について説明等行う) 市民文化祭に出展・発表するため、文化祭実行委員会と連絡調整を行う 各講座修了日に合わせ修了証を作成交付する 12月には3年経過した講座の後の新規講座を計画準備する 2月に各公民館担当者で次年度の定期講座募集等の打ち合わせを行い、公民館報の編集・印刷し3月中旬に区長を通して市内各戸配布 自主講座の年間使用日程調整

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
公民館報により定期講座の募集、実施 市民文化祭に出展・発表会参加	定期講座募集人数	人	160.00	151.00	122.00	122.00	122.00
	定期講座募集講座数	件	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民	人口	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市民同士が公民館講座を通して学びを広げる	講座を開催した日数	日	78.00	80.00	76.00	76.00	76.00
	講座に参加した人数	人	118.00	103.00	122.00	122.00	122.00
	自主講座として継続している団体数	件	14.00	15.00	17.00	17.00	17.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	財源内訳	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	440	480	510	0	0	0
	事業費計(A)	千円	440	480	510	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	3.00人	6.00人	6.00人	6.00人		
	述べ業務時間	時間	165.83	52.15	168.00	168.00	168.00		
	人件費計(B)	千円	481	151	487	487	497		
トータルコスト(A)+(B)			千円	921	631	997	487	497	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	科目	金額		科目	金額	
	08 報償費	480		08 報償費	510	
	合計	480		合計	510	

(4) 当該年度の実施内容

実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	大和中央公民館各種講座事業	事務事業No.	30201000613	所属課	生涯学習課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市民のニーズが多種になり、参加人数が増加している。市民の生涯学習に対する活動意欲が増加している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特にないが、新講座のたち上げの要望。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 アンケート等で市民のニーズを調査し・企画していく。
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習や文化活動を通して、知識や見聞を深めるのに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民同士が講座を通して学びを広げる「きっかけ」の場を提供している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 市民の要望する講座の開設に努め、多くの受講生を受け入れられるようにする。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の生涯学習の場であり必要である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 濃く公民館でそれぞれの事業を展開しているため出来ない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各種講座開催に要する最小限の予算であり削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民を対象としており公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 講座への関心が低くなってきているので、市民の要望にあった講座の開設に努め多くの受講生を受け入れられるようにする。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---